

平成30年10月22日

**附属高等学校の生徒が統計データ分析コンペティション
高校生の部で総務大臣賞を受賞**

総務省、独立行政法人統計センター、一般財団法人日本統計協会が共催する、統計データ分析コンペティションにおいて、広島大学附属高等学校1年大段利々子さんの論文が、高校生の部で最優秀論文に選ばれ、総務大臣賞を授与されることになりました。

このコンペティションは、与えられたデータセット（SSDSE）に基づいた統計の分析のアイデアと技術を競うものであり、大段利々子さんは「本当に日本の医療は危機的状況にあるのか？」というテーマで研究を進めました。医師数の地域偏在、地域間格差、財政状況、高齢化・人口減少の現状について、データ解析から傾向や様相を探り、分析結果と結論を論文にまとめました。

今年度初めて実施されるコンペティションであり、参考となる資料等も少ない状況の中、先駆的な取り組みができ、評価をいただくことができました。

なお、以下のとおり表彰式が行われる予定です。

<第68回 全国統計大会>

【日 時】 平成30年11月19日（月）13時30分～16時00分

【場 所】 国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）

【お問い合わせ先】

広島大学附属高等学校
副校長室
TEL:082-251-0192 FAX:082-252-0725

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）